

# 中津川市 リニア工事の陥没事故 原因究明抜き工事再開は許されない

たけだ議員 参院国交委



たけだ良介参院議員は5日、国土交通委員会で、岐阜県中津川市のリニア新幹線山口トンネル工事で、今年4月に起きた崩落事故について取り上げ、JR東海がボーリング調査の結果や事故原因を究明するための必要なデータを公表するよう求めました。

たけだ氏の質問に対し国交省は、「事故の原因究明にボーリング柱状図などの地質に関するデータは不可欠」と答弁しました。また、たけだ氏は、JR東海が資料の公表を拒否する理由に、個人の所有地があり土地価格に影響を及ぼすことをあげているとのべ、「過去に地価が下がった事例があるか」「3年前に起きた福岡市博多の七隈線延伸工事の崩落事故後、地価はどうなっ

たのか」を質問。国交省は地価下落の実例を示せず、福岡についてはオフィスビルやホテル建設で地価が上昇したことを認めました。赤羽一嘉国交大臣は「JR東海に話はさせていたたく」と答えました。たけだ氏はさらに、公文書管理法の対象になっている鉄道・運輸機構が、山口トンネル工事に関して持っている資料の公開を要求し、「国が責任を持って事故原因を究明すること抜きには工事を再開すべきではない」と厳しく指摘しました。

## 2回目放送せず NHK側から伝達か んぽ不正報道 もとむら議員 衆院総務委

もとむら伸子衆院議員は7日、総務委員会で、かんぽ生命保険の不正販売を暴露したNHK「クロージアップ現代+」(2018年4月放送)に対し日本郵政グループが抗議し続報中止を謀ったとされる問題について質問しました。

これに対し、日本郵政の長門正貢社長はNHKの大型企画開発センター長が同年8月に「2回目の放送はしない」と日本郵政に伝えていたことを明らかにしました。NHK幹部が率先して郵政側の圧力に屈した形です。

長門氏は、NHKからの連絡について「8月3日、NHK大型企画センター長から日本郵政広報担当者にあった。私自身は同日、その部下から報告を受けた」と答えました。

もとむら氏は、郵政側がNHKに圧力をかけた理由について、「放送後、かんぽ生命株が値下がりした。さらなる値下がりをおそれたのではないか」と追及。

長門氏は「クレームが減っている手ごたえを感じているときに(動画で)詐欺とか押し売りとか元本割れとか、聞き捨てならない言葉があった。これは問題だと協議をして、NHKにクレームをした」と説明しました。もとむら氏は、「結局、かんぽ生命の株



## 沖縄「臨時」空域で事故、隠へい 井上議員追及



井上さとし参院議員は7日の外交防衛委員会で、米海兵隊岩国基地(山口県岩国市)所属の米軍機が2016年4月、沖縄本島沖の「臨時」制限空域(アルトラブ)で接触事故を起こし、その事実を隠蔽(いんぺい)していたことを明らかにしました。海兵隊は9月26日、昨年12月に高知沖で、FA18D戦闘攻撃機とKC130空中給油機が、夜間空中給油中に起こした接触・墜落事故に関する報告書を公表しました。報告書では禁止されていた睡眠導入剤の服用や、飛行中の読書やひげ剃り、スマホでの自撮りなど数々の規律違反が明らかにされました。

同時に、同機種同士が16年4月28日にも夜間空中給油中に接触事故を起こし、嘉手納基地(沖縄県)に緊急着陸していたにもかかわらず、米軍は原因をまともな究明せず、日本側にも報告していなかったことも明らかにしました。

井上氏は「このときちゃんと調査していれば、その後の事故は防げた」と述べ、その後の事故は防げた

とする調査結果を指摘した上で、事故を起こした部隊は沖縄本島沖の「タイガー」空域で訓練中だったことを明らかにしました。沖縄本島周辺では、少なくとも16年以降、米軍の訓練のために「一時的」に民間機の飛行を制限する臨時制限空域(アルトラブ)が大幅に拡大。しかし、実態は「固定型」で米側の使い放題になっています。「タイガー」空域は、その「固定型アルトラブ」であることが、米空軍の資料に明記されています。

米軍の訓練空域は2年間で6割増大井上氏は、「既存の訓練空域にアルトラブが加わり、米軍の訓練空域は2年間で6割も増え、民間機は迂回(うかい)を余儀なくされている」と指摘。いつアルトラブが設定されたのかたどしたのに対し、国土交通省の河原畑徹交通管制部長は「米側の行動内容なので詳細は差し控える」との答弁に終始しました。井上氏は、「米軍はタイガーで訓練したと公表している。いつ、どこに設定されたか国民に知らされないアルトラブで米軍は事故を起こし、それを隠へいする。こんなことは絶対に許されない」と批判しました。

「桜を見る会」私物化 国会質問に反響 安倍内閣追い詰め  
る11月18日(月)ブロックいっせい宣伝を成功させよう